



技術提案評価型
評価方法の見直し

令和4年9月

中国地方整備局

港湾空港部

◇背景

- ・技術提案の有効性の評価は、「効果がある」「効果が小さい、または限定的」等と、効果のレベルに応じて、評価を差別化している。
- ・昨今のめざましい技術開発の進展に伴い、様々な多岐にわたる新しい技術提案がなされており、その効果の程度も多岐に渡っているところ。
- ・また**現在の評価方法**においては、**一定の水準を超えた提案は、「効果が認められる」として有効性Aと評価せざるを得ず、有効性Aとした評価の中でも効果が認められる提案の幅も広がってきている。**
- ・このため、優れた技術提案について、その内容を一層適切に評価するため、**これまでの有効性A評価を、有効性S,A+,A評価の3段階へ細分化する。**
- ・なお、これまで有効性、具体性ともA評価とした提案のうち、成果の品質、安全性、施工性の向上に対し、特に配慮された提案となっている提案を有効性Sとしていた評価は廃止する。
- ・令和4年9月30日以降にて公告する技術提案評価型S型の工事より適用します。

■評価方法（現行）

	有効性S	有効性A	有効性B	有効性C
具体性A	SA	AA	BA	CA
具体性B		AB	BB	CB
具体性C		AC	BC	CC
得点が付与された技術提案は実施義務を負う。				

- ・技術提案は、実現性のある提案について、有効性、具体性の観点から**3段階（A・B・C）**でそれぞれ評価し、その組み合わせに応じて得点を付与する。
- ・**有効性、具体性ともA評価とした提案のうち、成果の品質、安全性、施工性の向上に対し、特に配慮された提案となっている提案を有効性S評価とする。**
- [有効性A：効果が認められる、B：効果があるが小さい又は限定的、C：効果なし（標準案と同じ）]
- [具体性A：具体性が認められる、B：具体性が不足している、C：具体性が認められない]



■評価方法（試行）

	有効性S	有効性A ⁺	有効性A	有効性B	有効性C
具体性A	SA	A ⁺ A	AA	BA	CA
具体性B	SB	A ⁺ B	AB	BB	CB
具体性C	SC	A ⁺ C	AC	BC	CC
得点が付与された技術提案は実施義務を負う。					

- ・技術提案は、実現性のある提案について、有効性**5段階（S・A⁺・A・B・C）**、具体性**3段階（A・B・C）**でそれぞれ評価し、その組み合わせに応じて得点を付与する。
- 【有効性】
 - [S：非常に優れた効果が認められる、
 - A⁺：優れた効果が認められる、
 - A：一定の効果が認められる、
 - B：効果があるが小さい又は限定的、 C：効果なし（標準案と同じ）]
- 【具体性】
 - [A：具体性が認められる、B：具体性が不足している、
 - C：具体性が認められない]

<令和4年度 工事における技術提案評価型の評価方法の見直しに関する質問回答一覧>

* 説明会: 令和4年10月5日(水)13:10~13:40

質問内容	回答内容
有効性A+評価の位置付けは、各社の提案内容を個別評価する客観評価或いは各社に差を付けるために相対評価とするのか。	各社の提案内容毎に個別に評価を行います。相対評価ではございません。 なおA+の説明文について、「Aに比べより効果が認められる」と表記していましたが、「Aに比べ」との記載が相対評価と誤解されないよう、A+の説明文を「優れた効果が認められる」に修正しました。
・有効性S評価の位置付けとして、有効性A+との評価の違いは何か。	個別の設定テーマや視点に対して、一定の効果を超えるAより高い効果が認められる提案を有効性A+その更にとして技術が最高レベルの有効性が発揮できる或いは更に向上できる提案を有効性S評価とすることを考えています。
・見直し後の各評価点の差はいくつになるのか。	個別の配点はお示しませんが、満点及び有効性A以下についても変更はございません。